【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公開番号】特開2016-43597(P2016-43597A)
【公開日】平成28年4月4日(2016.4.4)
【年通号数】公開・登録公報2016-020
【出願番号】特願2014-170173(P2014-170173)
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ　67/00　　(2017.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ　67/00

【手続補正書】
【提出日】平成29年7月13日(2017.7.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の樹脂を用いて第１の部分を形成するとともに前記第１の樹脂とは異なる第２の樹脂を用いて前記第１の部分に接して第２の部分を形成することにより造形物を造形する工程と、
前記第２の樹脂を変性させて前記造形物から前記第２の部分を除去する工程と、
を含むことを特徴とする造形方法。
【請求項２】
請求項１に記載の造形方法であって、
前記第２の部分を除去する工程では、前記造形物に所定の刺激を加えることにより前記第２の樹脂をゲルからゾルに転移させることを特徴とする造形方法。
【請求項３】
請求項２に記載の造形方法であって、
前記所定の刺激は、前記造形物の少なくとも第２の部分の温度を所定の温度にするものであることを特徴とする造形方法。
【請求項４】
請求項２に記載の造形方法であって、
前記所定の刺激として、前記造形物を所定のｐＨの電解質溶液に浸漬することを特徴とする造形方法。
【請求項５】
請求項２に記載の造形方法であって、
前記所定の刺激として、前記造形物に紫外線を照射することを特徴とする造形方法。
【請求項６】
請求項１に記載の造形方法であって、
前記第２の部分を除去する工程では、前記造形物に所定の刺激を加えることにより前記第２の樹脂を溶媒に対して可溶化させることを特徴とする造形方法。
【請求項７】
請求項１から６のいずれか一項に記載の造形方法であって、
前記第２の部分を除去する工程において前記造形物に前記所定の刺激を加えることにより、前記第１の樹脂を硬化させることを特徴とする造形方法。

【請求項８】
第１の部分用の第１の樹脂と第２の部分用の第２の樹脂とを用いて造形され、前記第１の部分と前記第２の部分とで構成される造形物であって、
前記第２の樹脂は、所定の刺激を加えることにより変性する材料であることを特徴とする造形物。
【請求項９】
第１の部分用の第１の樹脂と第２の部分用の第２の樹脂とを用いて造形された後、前記第２の部分が除去された造形物であって、
前記第２の樹脂は、所定の刺激を加えることにより変性する材料であることを特徴とする造形物。